

令和4年3月1日

保護者の皆様へ

池田市立呉服小学校

校長 大森 一人

### 令和3(2021)年度学校教育アンケートの結果について

2学期末に行いました学校教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。582児童に対し509児童の保護者から回答をいただきました(回答率87.5%)。合わせて児童対象のアンケートも実施し、それらの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。記述式のご意見・ご提言を含めアンケート結果については職員で共有し、検討すべきところ、改めるべきところを整理し、よりよい学校づくりのための貴重な資料として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

#### <表の見方>

児…児童 保…保護者

A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…ややあてはまらない D…全くあてはまらない

E…無答(わからないを含む)、重複回答 ※片面全問無回答については、総数から省いています。

※データはエクセルで小数第2位を四捨五入しています。処理上、合計が100%にならない項目もあります。

#### 1. 学校生活、家庭学習について

(単位：%)

|   | 項目                    | A    | B    | C    | D   | E   |
|---|-----------------------|------|------|------|-----|-----|
| 児 | 学校に行くのが楽しい            | 52.5 | 33.2 | 7.3  | 6.8 | 0.2 |
| 保 | 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている  | 51.5 | 40.1 | 6.5  | 1.4 | 0.6 |
| 児 | 学校には、仲の良い友だちがいる       | 89.4 | 8.2  | 1.3  | 0.9 | 0.2 |
| 保 | 子どもは、学校に友だちがいると言っている  | 82.3 | 14.5 | 2.4  | 0.0 | 0.8 |
| 児 | 自分から進んであいさつをしている      | 44.3 | 40.7 | 11.6 | 3.0 | 0.4 |
| 保 | 子どもは、自分から進んであいさつをしている | 37.7 | 42.0 | 16.5 | 2.2 | 1.6 |
| 児 | 学校やクラスのきまりを守っている      | 55.0 | 35.7 | 6.5  | 2.7 | 0.2 |
| 保 | 子どもは、学校のきまりを守っている     | 60.9 | 33.0 | 4.3  | 0.8 | 1.0 |
| 児 | 家庭学習にすすんで取り組んでいる      | 49.1 | 32.6 | 13.1 | 4.7 | 0.5 |
| 保 | 子どもは、家庭での学習習慣を身に付けている | 40.3 | 44.2 | 12.2 | 2.6 | 0.8 |

学校生活については多くの子ども、保護者ともに、肯定的にとらえていますが、「学校に行くのが楽しい」の項目で否定的な回答(C+D)が14.1%(児)・7.9%(保)となっています。これは、昨年度(16.2%(児)・11%(保))に比べると、少し改善しています。しかし、学校が楽しくないと思っている子どもたちがまだ、一定数いることが結果から見えてきます。子どもたち一人ひとりが認められ、安心していきいきと過ごせるような学級・学校づくりをめざしていきます。

児童アンケートの中で、家庭学習については、「すすんで取り組んでいる」の「よくあてはまる」の割合が、昨年度比で2ポイント下降しながらも一定定着がみられます。また「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の否定的回答も0.8ポイント上昇しました。家庭学習習慣が80%以上の家庭でほぼ定着してきている反面、定着していない児童も増えるなど、2極化がさらに進んでいるようで少し心配です。あいさつや規範意識とともに、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが大切だと考えております。

## 2. 授業について

|   | 項目                           | A    | B    | C    | D   | E   |
|---|------------------------------|------|------|------|-----|-----|
| 児 | 授業について自分の考えをまとめたり、発表する機会がある  | 48.2 | 36.9 | 10.2 | 3.6 | 1.1 |
| 児 | 授業で学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている   | 57.5 | 32.1 | 7.3  | 2.2 | 0.9 |
| 保 | 学校は「計算タイム」の実施など基礎基本の定着に努めている | 54.6 | 40.7 | 1.6  | 0.0 | 3.1 |

児童アンケート上記項目については、新学習指導要領の趣旨である主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりで大切な観点です。発表する機会があるの「よくあてはまる」「あてはまる」の合計が、4.8ポイント、話し合う活動が3ポイント上昇しています。これは一人1台のタブレット端末の配備により、子どもたちの考えや意見がクラス全体で共有できることになった成果が表れていると考えています。今後も、タブレットを効果的に活用しながら、基礎的・基本的な内容の確実な定着や課題解決型学習を積極的に取り入れるなど、授業改善を進めていきます。

## 3. クラブ活動（4～6年）

|   | 項目                 | A    | B    | C    | D   | E   |
|---|--------------------|------|------|------|-----|-----|
| 児 | クラブ活動は、参加したいクラブが多い | 48.0 | 24.2 | 18.5 | 8.9 | 0.4 |

クラブ活動は、水曜日の6時間目に、4年生以上の児童全員がいずれかのクラブに所属しています。今年度もコロナ禍の影響もあり、実施回数が制限されましたが、(吹奏楽部は特別クラブのため、クラブ活動の時間には活動していません。)異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を進め、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てることがねらいです。昨年度のアンケート結果を含め、クラブの内容を変更したこともあり、参加したいクラブが多いについて、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した児童の割合の合計が、昨年度より2.2ポイント下がりました。コロナ過の中、活動できること自体が、幸せなことなのだと感じているのかもしれない。

## 4. 豊かな心を育む

|   | 項目  | A    | B    | C    | D   | E    |
|---|---|------|------|------|-----|------|
| 児 | 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している                    | 49.6 | 32.6 | 11.6 | 5.6 | 0.5  |
| 児 | いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う                  | 79.4 | 15.9 | 3.0  | 1.3 | 0.4  |
| 児 | 先生は、いじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる        | 70.6 | 22.4 | 4.5  | 1.8 | 0.7  |
| 保 | 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる                | 36.5 | 45.2 | 7.9  | 1.0 | 9.4  |
| 児 | 自分の命を大切にすることや、友達にやさしくすることを教わっている          | 79.6 | 16.5 | 2.7  | 0.5 | 0.7  |
| 保 | 学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。      | 33.8 | 49.9 | 8.4  | 0.4 | 7.5  |
| 保 | 学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている      | 34.6 | 47.7 | 6.9  | 1.2 | 9.6  |
| 保 | 学校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の現代的課題について子どもに学ばせている | 36.3 | 45.2 | 6.5  | 1.6 | 10.4 |

人権尊重はすべての教育活動の基盤です。「いじめ」については、「どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目で児童の95.3%が肯定的な回答をしていますが、昨年度より少し減少したとはいえ、

否定的な回答も 4.3%あります。今回のアンケートでは、「先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」についての肯定的な回答が、3.9 ポイント上昇しました。昨年度のアンケートの反省から、教職員が一人ひとりの児童の声に寄り添うことを意識した結果だと考えています。

「いじめ」については、毎学期（年間3回）学校生活アンケートを実施するなど、いじめの未然防止や早期発見に努めているところですが、子どもたちからの聞き取りを、より丁寧に行っていく必要を感じます。「いじめは絶対に許されない」という意識を子どもたち全員が持てるように、道徳や学級会の時間だけでなく学校教育活動全体を通して豊かな心の醸成や「いじめのない学校づくり」に取り組んでまいります。

保護者アンケート結果からは、上記項目は他の項目に比べ「無答・わからない」の回答が高くなっています。今年度もコロナウイルス感染症防止の為、多くの行事や授業参観などが中止となり、教育内容について保護者への発信が、不十分であったことは事実です。学校での取組みを積極的に発信していくために、これからも学校 HP で国際理解教育や人権教育も含め、授業の様子や生活の様子など、日々の学校生活を積極的にお伝えしていきたいと考えています。

## 5. 教職員について

|   | 項目                      | A    | B    | C    | D   | E   |
|---|-------------------------|------|------|------|-----|-----|
| 児 | 授業でわからないことについて先生に聞きやすい  | 46.4 | 34.6 | 12.5 | 6.3 | 0.2 |
| 児 | 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる | 64.9 | 27.1 | 5.9  | 1.8 | 0.4 |
| 児 | 気軽に相談できる先生がいる           | 61.8 | 22.9 | 8.6  | 6.3 | 0.4 |
| 保 | 先生は、子どものことを理解している       | 48.7 | 40.5 | 6.9  | 1.6 | 2.4 |

児童への質問「授業でわからないことについて先生に聞きやすい」については、18.8%の児童が否定的な回答をしています。昨年より、3.8 ポイント下がり、着実に改善はみられていますが、否定的な回答が0%になるようにこれからも、教員と子どもの信頼関係が築けるような学級・学校づくりを進めていきます。「気軽に相談できる先生がいる」については 84.7%（昨年よりさらに 2.2 ポイント上昇）の児童が肯定的な回答をしています。今後も支援コーディネーターを中心に、スールカウンセラーやスクールアシストメイト、スクールソーシャルワーカーなども含め複数の教職員がかかわる体制を継続しながら、子どもたち一人ひとりの困り感や悩みを見過ごすことなく、心に寄り添った指導をすすめてまいります。

## 6. 家庭への連絡、連携、相談

|   | 項目                                 | A    | B    | C   | D   | E   |
|---|------------------------------------|------|------|-----|-----|-----|
| 保 | 学習の内容や進度を懇談や学年(学級)通信などによって知ることができる | 50.1 | 41.7 | 6.7 | 0.8 | 0.8 |
| 保 | 学校は、保護者の相談に応じてくれる                  | 52.1 | 39.3 | 4.3 | 0.6 | 3.7 |
| 保 | 学校が保護者に出す文書・事務連絡は適切である             | 43.0 | 46.2 | 8.8 | 0.6 | 1.4 |
| 保 | 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている          | 38.7 | 47.5 | 9.8 | 1.4 | 2.6 |

保護者の皆様へのお知らせは、学校日より、学年(学級)通信、お知らせプリント、連絡帳で連絡し、緊急を要する場合は「ツイタもんメール」でメール配信をしています。学級の出来事等をお知らせする必要があるときは、その都度電話や連絡帳、家庭訪問で連絡をとるようにしています。

コロナ禍の影響がまだまだ続いており、学校からのお知らせが、今年度も多くありました。その結果、昨年度と比較して、「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」の肯定的な回答が 2.1 ポ

イント上昇し、否定的な回答も 1.8 ポイント減少しました。これからも家庭連絡等をこまめに行い、保護者のみな様との情報共有を丁寧に行うよう努めてまいります。また、昨年度の記述アンケート結果から、今年度より、重要なお手紙については、学校HPの配布文書欄に掲載するように改善を図りました。

## 7. 安全、施設面

|   | 項目                                    | A    | B    | C    | D   | E   |
|---|---------------------------------------|------|------|------|-----|-----|
| 児 | 学校で、事件・地震や火事などが起こった場合、どうしたらよいかを教わっている | 85.5 | 10.6 | 2.2  | 1.6 | 0.2 |
| 保 | 学校は、防災・防犯・事故防止に努めている                  | 46.8 | 43.8 | 5.3  | 1.4 | 2.8 |
| 保 | 学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる               | 32.2 | 49.3 | 14.1 | 1.6 | 2.8 |

登下校の安全確保では、保護者・地域の皆様にご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。児童は「学校で、事件・地震や火事などが起こった場合、どうしたらよいかを教わっている」という質問に対し、96.1%の児童が肯定的な回答をしています。これは、昨年度より 1.3 ポイント上昇しました。これはコロナ禍の影響により、昨年度、避難訓練を 1 回しか行えなかったことを反省し、今年度は感染対策を徹底しながら、例年通りの形で、年に 3 回行った結果だと考えています。

また、施設・設備面では経年劣化が進んでいますが、学校校務員さんや池田市の営繕事務所さんとも連携し、運動場の遊具の改修や再塗装などを図りました。また、今年度は市教育委員会と連携を図り、校内の電燈をすべて LED 化に変更するなど大きな改善を行うこともできました。その結果が「学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる」の肯定的意見が昨年度に比べ 9 ポイント上昇につながったと考えています。2 月末には体育館の空調工事も終了する予定です。

プールや校舎外壁からの雨漏れについては、以前から教育委員会に改修をお願いしています。施設設備の改修は多大な経費がかかり、すぐに大きな改善とはならないのが難しいところですが、少しずつ改善できるようにさらに連携を図っていききたいと思えます。

## 8. 小中一貫教育（いけだ学園）

|   | 項目                                   | A    | B    | C    | D    | E    |
|---|--------------------------------------|------|------|------|------|------|
| 児 | 呉服小・池田小・池田中をあわせて「いけだ学園」と呼んでいるのを知っている | 47.1 | 14.9 | 8.2  | 29.6 | 0.2  |
| 保 | 池田中学校区を「いけだ学園」と呼んでいるのを知っている          | 64.0 | 21.0 | 7.3  | 6.5  | 1.2  |
| 保 | いけだ学園ですすめている小中一貫教育の取組みは良い            | 34.4 | 39.1 | 12.0 | 2.4  | 12.2 |
| 保 | 児童生徒や教職員の交流(Withの日)を実施しているのを知っている    | 43.0 | 46.2 | 8.8  | 0.6  | 1.4  |

池田中学校区で、施設分離型の小中一貫教育に取組み始めてから 8 年が経過しました。教職員間の交流も活発になり、協力・連携して様々な取組みを行い、成果を上げてきています。アンケート結果を見ると、名称については「知っている」との回答が児童では昨年度比 5 ポイント、保護者では 3.6 ポイント下降しました。これは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、2 年連続して、小々交流や、小中交流の取り組みの機会が取れなかったことが大きな原因と考えられます。来年度も、一同に集まる、交流の機会がすぐには増えないと考えられるので、導入されたタブレットを効果的に活用しながら、今までとは違った形の小小交流や小中交流の取り組み方を「いけだ学園」全体で模索していく必要があると考えています。

9. 英語教育（1年生・2年生保護者）

|   | 項目   | A    | B    | C    | D    | E   |
|---|--|------|------|------|------|-----|
| 保 | 英語の授業を通して、お子様の英語学習に対する態度や英語を運用する知識・技能の向上を感じましたか。 | 18.0 | 43.2 | 28.4 | 7.7  | 2.7 |
| 保 | お子様は英語活動を楽しんでいますか。                               | 47.5 | 33.9 | 13.7 | 2.7  | 2.2 |
| 保 | 1年生から外国語活動を行う上で、お子様に変化はありましたか。                   | 19.1 | 34.4 | 29.5 | 12.0 | 4.9 |
| 保 | 池田市では、小学校1年生からが英語の授業をしていることを知っていますか。             | 62.3 | 26.8 | 6.6  | 3.3  | 1.1 |
| 保 | 英語の授業のことを家庭で話題にしますか                              | 26.8 | 29.5 | 23.5 | 19.1 | 1.1 |

低学年から、英語（外国語）活動を行うことは、外国のことや英語（外国語）を学ぶ楽しさを知るとともに、英語に慣れ親しむことを目的として行っています。そのため、英語の知識向上や運用ができることは良いことですが、それ以上に、子どもたちが英語活動を楽しめることが大事なことだと考えています。しかし、今年度は英語の歌を歌ったり、チャンツやゲームをしたりなどの活動が、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から、制限された中での英語活動となった影響により、「楽しいと感じている」と肯定的にとらえていただいている割合が、81.4%（昨年度 97.7%）と大幅に下がる結果となってしまいました。この結果を真摯に受け止め、来年度は制限された中でも、子どもたちが英語に慣れ親しみ、英語の時間が「楽しい」と感じられるような活動を研究していきたいと思えます。